

2. 指標設定

成果指標	指標名	適切な取扱事務	目標年度	-	指標の設定理由				
	数値	-			大分県後期高齢者広域連合の窓口業務として				
活動指標	指標	a	受付	b	徴収	c		d	
	数値	目標	-	目標	県平均以上	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
適切な取扱事務		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 受付		-	-	-
b 徴収	億円	3.2億 円	3.5億 円	3.5億 円
c		-	-	-
d		-	-	-

4. 課題と対応

課題
後期高齢者医療保険制度に代わる制度が国で検討されている。
対応（改善点等）
国会の審議状況などを注視。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

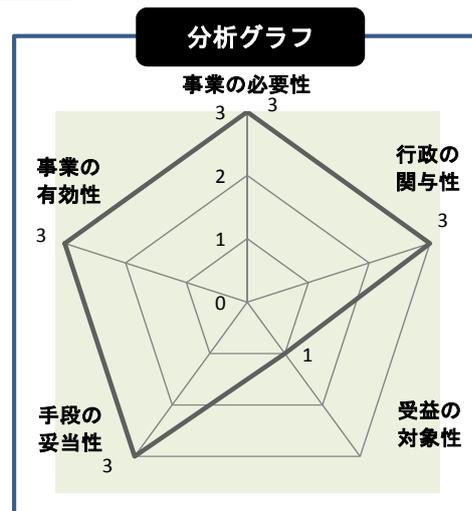
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		522,552	567,259	566,858	589,700
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	522,552	567,259	566,858	589,700
うち経常		522,552	567,259	566,858	589,700
事業費に係る人件費		-	-	-	-
事業費に係る人役		-	-	-	-

6. H27年度予算の方向性

方向性
増額
理由
被保険者、療養給付費の増加による負担金の増。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 後期高齢者医療制度による。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 後期高齢者医療保険制度による広域連合との役割による。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 後期高齢者医療保険の被保険者が対象。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 大分県後期高齢者広域連合の窓口業務として。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 大分県後期高齢者広域連合の窓口業務として。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、医療費適正化に努め、未収金の回収を図ること。